編結に徳王聲明書を發表

る固ら

(-)

も重慶を空龍

(日 曜 土)

| 「香港十六日漫園通」 東海中 | であたが | では | であたが | であたが | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | では | であたが | では | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | では | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | であたが | であたが | では | であたが | であたが | では | であたが | であたが | であたが | では | であたが | であたが | であたが | であたが | であたが | では | であたが | であ

設立進む

東郷駐ッ大使は二十五日午後 三時モロトア外務人民委員を 群去した

◆ 大野精治氏(附和製鋼取精 ・ 大野精治氏(附和製鋼取精 ・ 大野精治氏(附和製鋼取精 ・ 大田の原子氏(高)同 ・ 大田の原子氏(南)同 ・ 大田の原子氏(南)同 ・ 大田の原子氏(南)同 ・ 大田の原子氏(南)同 ・ 大田の原子氏(「一)同 ・ 大田の原子に(「一)同 ・ 大田の原子に(一)同 ・ 大田の原子に(一)の ・ 大田のの ・

新京媛房商行

利を尊重

王荆山氏を任命 サルウアドル名を領事

▲山田運氏(官吏)大都ホテ

根準物値を終って論論 を表って論論

**以(中村汽船服締役)** 

物動計畫も電動主義で、電

しめ、また海軍機の特徴もこ を動に對し想撃を加へ沈默を る敵に對し想撃を加へ沈默を の大陸嵩嶼方面に蹇動す

を登進乗して大打撃を興へ、 数を造乗して大打撃を興へ、 な最近において見玉 な最近を遂げた

に達した情報によれば前ゲ

空保安整備

最初の着陸ビーコンなど

三ヶ年計畫愈よ

## 却

介勇忠〇五社

日六十二



完、盟邦學徒との交號等に集一 をの共同訓練、日本精神の所 との共同訓練、日本精神の所 おけるこの青年層の大同團結

エジョフ發狂す

日夜 て新花の敵を急襲撃滅しつゝ 十一日夜半新培河シ湾河の合 総なる包園潰液酸の幕を切つ を確 の高地線を占領確保し、中央 一気に新培河を渡河政療監白 た、この戦闘において敵第六 力を 對岸の敵主陣地を限下に神院 に突入して敵の退路を制犯し ○師の一八七旅は旅長以下二 たが するに至つたが、一方大雲山 た。また忠坊方面より前逃し ○師の一八七旅は旅長以下三 たが するに至つたが、一方大雲山 た。また忠坊方面より前逃し ○師の一八七旅は旅長以下三 たが するに至つたが、一方大雲山 た。また忠坊方面より前逃し ○師の一八七旅は旅長以下三 たが するに至つたが、一方大雲山 た。また忠坊方面より前逃し 一気に新培河を渡河の変揚がで、 一気に新培河を渡河の渡路も甘田 た。この戦闘において敵第六 た。 一気に新培河を渡河のと制でに対して 一気に新培河を渡河のと 一気に新培河を渡河のと 一気に新培河を渡河のと 一気に新培河を渡河のと 一気に新培河を渡河のと 一気において政第六 一気に対方面より前逃し 一ないて、 一ないて、 一ないて、 一ないで、 一ないで、

フ外務委員會談 東郷大使モロト

午前六時十八分新京斎審夫 團體往來(廿六日)

恢被製作

文官考試規程に

で村五日午後運事會を開催。正制會頭の五遷を行つた結果正制會頭の五遷を行つた結果可護任、副會頭には佐藤宮文の選任、副會頭には佐藤宮文の二副會頭制を復活した。

**皮邊證券視察團 A 長談** 

新京に於ける

取てこの損寒を提案したの に警覧打開の途はないので、 で、

和會をして語歴、其他特殊 本、約五ヶ年を利用期間とすること 一、建築方法 イ、利用期間五ヶ年を目標と して最簡易設計とす

住宅難問

題

) 一、軍獄合唱 一、大日本帝國海軍萬載

我等滿洲國全佛教徒は嚴然 る建國精神を體して和衷施 超立工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の建設に順應 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を 電子工作所則の目的を で自行化他道義が といために の本分 に で自行化の に で の を に で の に で の に で の に 。 に の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の 。 の

教総會強會式と花祭 とつと押しがけで敬 とのと乗びを見せた 日を賑ひを見せた

の出迎へ受けて上陸、直になるの他博覧會關係者との他博覧會關係者

7日本鹽月民子譲、ミッンフランシスコ萬國

### す海軍記念日 全市軍國色に彩らる 本事務長、 本部長、 松

著寺に於で花まつりが盛大に 「満洲佛教館會」 發會式の擧 行あり大いで午後一時から般 行あり大いで午後一時から般

総田丸でサシフランシスコに 米した月本蝶子頼は廿五日副 米親善の聖火を傳達すべく海 は十五日副

民並に次々と押し寄せる観光 迄に 民並に次々と押し寄せる観光 迄に 通舎社では昨秋來納入遅延し であた新車の納入方を再三督 たが、二十五日まづ襲九用車 たが、二十五日まづ襲九用車 たが、二十五日まづ襲九用車 たが、二十五日まづ襲九用車 を関型二十五人乗り三台が到 機関となりこ 機器にあた 機器にあた

(東京國通) 出張り マニラ

訓練

實施

はじめに六月十日に北が全部一般客にれば相當乘客のと幾分でれるものと幾分である。

丸で出設する 雄氏かそれぞれ

足どうやら緩和 深氏、マニーには同局属 ドンには庶務課事務官津 ドンには庶務課事務官津

乳母雇ひ度し

新京與安大路三〇二 選和街六、《停留場前

巾民

來る

事を有する人履歴書持条午前中面談の内地人に限る活版印刷の校正に經驗

講堂に於て開催される 第三回新京眼科集團會に二十 第三回新京眼科集團會に二十 堤特務科長赴任 新京眼科集團會

「ボーリング」に経験を有する男

一十五日午後八時十十五日午後八時十一十五日午後八時十

同十二時同校の訓練を終った一

△男子ダブルス決勝 なりた

習第五日午前

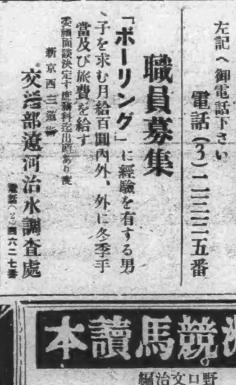
(中七日)

御用の方は 電話譲りたし 電話②二五九六番

會葬御禮

夫

益田五郎



新京巡回雜誌社

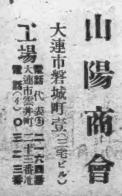


職員募集

新京日本館東 特價七十錢

日野 ・ 大田 ・ 大田

愈々發賣!!



商

別に統領女性の領刺たる理断合

漢部屋に大隅決定を

を関す中の関都の傳染病患者 る四月中の関都の傳染病患者 を主教は合計四十四名(うち だしく二十六日までに十四 名の設生(うち死亡四)で罹 といるの数生(うち死亡四)で罹 といるの数生(うち死亡四)で罹 といるの数生(うち死亡四)で罹 といるの数生(うち死亡四)で罹 市原中央通署長 けふ着任

漢部屋に大體決定を傳達した 提問する事を決定、直ちに立 提問する事を決定、直ちに立 要が最初をもつて大隅に をいって大隅に をいって大隅に をいって大隅に をいって大隅に では三十六日午前九時から協 羽黒山を大關に 猩紅熱蔓延 を捧じて飛行機でニューレルスに向かい 同地から 午後二時四十五分

新學期

小中學生の

3

する。 はいるなりでですり、 の御友養の長として なるでですり、 の御友養の長として の御友養御鞭蛇をお で生い、 の御友養の長として の一生監命に努める でがあます、 でがあます、 でがあます、 でがあます、 でがあます、 でがあます、 でがあます、 でがある。 でがなる。 でがある。 でがある。 でがなる。 でがある。 でがなる。 でがる。 でがなる。 でがなる。 でがなる。 でがながなる。 でがる。 でがなる。 でがな。 でがなる。 でがな。 でがな。 でがなる。 でがなる。 でがなる。 でがなる。 でがな。 でがな。 でがなる。 でがな。 でがな。

清眼堂

宮土町小火 二十六日 三丁目二十六運送業玉盛棧よ 三丁目二十六運送業玉盛棧よ り出火、磯町消防所員出動直 清眼堂 

を望むし但十七八歳より廿三歳迄の内地人を望む 女子店員募集 る眼鏡を蜘掛け下さい して肉眼の延長で御座います此の際是非正確な を左右するもので御座います目は頭腦の源泉に 新學期を整 百貨金秦人事係 係募集 へて小中學生の視力は其の人の成績 地工機

眼 堂 金具械 輸出入商

店の鏡眼双き鏡眼 THE STATE OF 

全 Fi Fi 電点にいって

●記載三年三世紀○○本への

即陳京教等別傳道會基督教特別傳道會 ▲七・二〇講演(東京)邑井貞吉 ・一〇講演(東京)邑井貞吉 ・一〇、本本・二〇講演(東京)邑井貞吉 ・一〇、本本・二〇講演(東京)邑井貞吉 満 租元 0 獨特野外料 書 0 命 題 理

新京喜多會例會

製富組が第二セットを 関連」全関東延球大會 は二十五日田園コート である。 では二十五日田園コート

邦人の天然痘を次北方音田たを(四三)

▲海軍記念日式典 午前十一時兒玉公園忠魂神前 本財海講習會第六日目 實地 海習 本知兒生活展覧會 午前九時 より於寶山百貨店 より於野山百貨店 より於記念公會堂 主なる放送

夏田鍼灸院

ルビ鴎青 





十二十

「第九交響樂」でデヴューしたデトレフ・ジールクの監督 作品で、ジールクとフランツ りルナー・バステが舞台劇か りの書いた四つの歌語が主 として取入れられてある、主 ととして取入れられてある、主

思ひ

の曲

アルウス

級第の音樂映畵

動を横て1.08を横上部隊 発配 間 隊 整配 間 隊

「水產業篇」着手

人、育萬、清經、祝言と、通小、賴政、舞囃子、吉野、北の段、敦盛、能の段高、生の段、敦盛、能の段高、生の段、敦盛、能の段 機口菊曾館で開催、當日 十八日午前十時から白菊 十八日午前十時から白菊

な本紙愛讀者の為普通料 を本は一個に割引の特異が で、 の本紙愛讀者の為普通料 の本紙愛讀者の為普通料 俄然 御聽き逃しなき様に

餐 新京日日新聞計

氣沸騰 の名浪曲

割引祭御利用下さい

懲よ今夕開演 浪曲吉田奈良丸

讀者優待割 一頭に割引(但一人一枚限)本条特多者は入場料一圓五十銭の處 場所 会 會 堂 引

讃者優待 浪曲吉田奈良 一個に割引(但一人一枚限)・本券持参者は入場料一膃五十銭の處 二十六日より二日間 引

上 とする宮廷言樂會の歌手が故 を迎へることになる、白羽の を迎へることになる、白羽の を迎へることになる、白羽の を迎へることになる、白羽の

吉田奈良丸

来た。

・ のではない。

・ なかいては除り見るべきものではない。

・ ながいてもエッゲルトに開送しては「第ないながらもことでは「明本内容を選別に押法をしている音樂處理」

・ 本の音樂處理」

・ 本の音樂處理

話③六八〇五

出 前 迅 涑

新京日日新聞社

本 H

出賣大切見大的底徹為の替織組

香0一八三③話電

犠 全

其、・・、、、、の 常半サ 絹純同他 ロモ綿織 同數方用新柄小紋 一個 抽 的 着 尺 一個 抽 的 看 尺 同織ナゴヤ帶 場 げー木二 五

不商品の微低大見切大賣出しを『倉場織替への爲め夏物實需季に逼れる今日日頃御ひいきに預ります弊店は店内組

品

每日午前八時以午後十 计计计 六五 H H

(間日三)

佐島

分杉

利早

信尚

主

演

作華豪つ放が星巨・匠巨つ放が資東 大 伸 村 英 澤 三龍

輝てしミ燦に座王の界畵映 の高最本日 家作オリナシ山 着羅後一第 !! 篇名の趣興壮豪く

行與大別特 フータス朗明ルーズ







書

商

本下 大雅書

軍集民

注意すべ 料材用道水●房煖

プンホ・罐汽・機汽

具工及械機作工



3,01 6,54 丁集京形の

1,25 4,25 7,40

思沙曲の曲 11,4 2,47 5,4 9,00

女自雷也13,00 3,04 6,08 10, 15





刞

ニュース

卅一日





の反英熱熾烈

新村場附近の敵

島城目部隊は廿

汾西附近を痛爆

空陸から掃蕩

津兩部隊

劉共産軍を急追



44

印稿發 電行 話所 人人人

かぜ廣東省

年前入時(満洲時間)パンコックを出致したそよかぞ號は ・ かりを出致したそよかぞ號は ・ かりが近の雷雨と悪天候 を実破し午後三時卅三分無事 を実破し午後三時卅三分無事

十六日

斜廣定木 金告價紙 特普郵一

# 疑絶大の戦果收む

州の認識深む

と懇談

あると思ふが、記号における互

第東南方九キロ様寸で

みたが問題にならず、日本機は悠々これを排して重慶市上空に現はれ去る五月五荒鷲の重慶爆撃は折柄の月朗の中に行はれ地上から濃影がはつきり認められた、一族計算を表す。

市内には火災が二個所に起り、電燈、軍話は總で被損

れに拡大なる損害を與へ全機無事職還せり▼【否能廿六日竪図通】重慶U・P

後七時か

勞質の統制について

なほ入佐少佐の指揮する他の攻撃部隊は午後十時頃廣陽壩飛行場を猛爆格納庫二、電もり、同桁外周ならびに正岸外人居住地附近よりの防禦銃砲火極めて熾烈なりしが

れる敵戦闘機四機中その

一機を撃墜せり、

山頭鎭に突 軍事施設を爆破せり、なほ 一二、廿四日南支方面において 海軍航空際は調建省龍敷を 会襲、飛行場、兵舎その他 会襲、飛行場、兵舎その他 多大の損害を與へたり
不明理物多數を爆撃これに
軍用理物多數を爆撃これに
不明政府その他
不明政府を別称せるほか

廿六日發國通1 工藥部

が、また趙馬村には師團司ほ仲村には九十三軍の司令

設中である が当後處置は海軍當 の善後處置は海軍當

交涉開始

### 指揮官令 陸問題英半 **小責任轉嫁畫策** 目議打切

海官會議の打切り が方の要求を解決すべきもの 出してわが方に一 安折側が開始されるとしても 光が今度は窮餘の それは單に工部局に對するわ を堅持してをり、假令今後外

から、従つて英米が會議の打 ある、従つて英米が會議の打 決定すべきものであるとしてであつて陸戦齢問題は絶對に

安の国容をする旨を約して辭 会の国容をする旨を約して辭

耐力の豪富は我頭上に火水の 動の豪富は日本何事や 動のを思つてゐた▼然 ものと思つてゐた▼然 を選西亞は日本何事や 動物の豪富は我頭上に火水 を選及では日本何事や はなるでかより世 を選及である。 を選及である。 を選及では、 を選及である。 を必然である。 を必然でる。 を必然でな。 を必然である。 を必然である。 を必然である。 を必然である。 を必然である。 を必然である。 を必然である。 を必然である。 を必然でな。 を必ずである。 を必ずである。 を必ずでな。 を必ずでな。 を必ずでな。 を必ずでな。 を必ずでな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでなな。 をでな。 を

育を鵜呑み

及克嚴禁緩和を懇願 左の如き質疑勝答が行はれ午 説明あつて後驟談に入り大要 につき事項別に相當詳細なる 工部局改組問題 

色札付大特價品 本絹名古屋 半襟·帶揚

致します眠々しく御報恩を この際日頃の御報恩を に盛りまして大賣出し

海洲國在勤帝國大使館附武官 黔

動を更

に荷ひ全力を擧げて露西亜バ帝國海軍が皇國の興慶を双肩

ルチック整験を對馬海峡に潰 してより早くも三十四年、此 處に再び事變下の此の光輝を博 で表ものがある、推ふに此の 大連を得たる所以のものは是 素より、大元胂陛下の御後戚 大連を得たる所以のものは是 であるが、我

新東亞建設

を迎ふる日 說

事要下にける海 電流の大路勝とを比べ考へると 事の大路勝とを比べ考へると 事の大路勝とを比べ考へると 事の大路勝とを比べ考へると 事の大路勝とを比べ考へると であり、それには駆き海のである今日支那大陸 であり、それには駆き海の守りあるが、 をあげつムあるのである今日支那大陸 であり、それには駆き海の守りあるが、 をあげつムあるを関策に関いて着々と 薬面に於いて潜々である。由来日本 であり、それとともに西太平 であり、また外國の第別をも排し ところなのである。由来日本 の本務に接頭しよったのである。 ことを必要であることはいふまでもない。 を必要であることはいふまでもない。 を立ろなのである。今やこの 本では、かれら國民に を立るのである。今やこの を立るのである。今やこの を立るのである。今やこの を立るのである。今やこの である。今やこの である。今やこの である。 でもない。 できる。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 できる。 できる。 できる。 でもない。 できる。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 できる。 でもない。 で

・ 一致更に一般の 四回海軍記念日を迎へた。時 の四回海軍記念日を迎へた。時

を 孕んで褒風正に全世界を 富り世界の列張は孜々として 電備の光質に狂奔し、来るべ 電前の光質に狂奔し、来るべ 電前の一大變化に際して何事かを に 日論みつゝあるかの有様は山 の限定を覺ゆるのであるが、 が速の平和を確立すべき新秩 での建設を實現せんとするに に 當り、特に 東に三省すべきは我が國海洋 東に三省すべきは我が國海洋 東に三省すべきは我が國海洋 東に三省すべきは我が國海洋 東に三省すべきは我が國海洋 東に三省すべきは我が國海洋

0

め西るも露國治 (信む一我ひ者ん園宛んも苦にをて是菜出風彼盡修力重のはを保きし役のるたずをば砲中無にな悟 (保) に実に之艦米 (内) に対し神、一かか武と物得之れな入頭のさ姿姿をあ平通覺憩は既に練所る、形我百の形形あるる (保) では近時に至と水腰 (大) では、 一本の (大) には、 (大) には

赛馬 日程

長、同六年秘書課長、同八年理課長を拜命、昭和五年度課 大法科卒菜後明治四十四年

第二回心五都市で開催 

優秀發明展覽會

式部職外事課長事務取扱を命式部職外事課長事務取扱を命

式部大長 鹿兒島虎雄

武夫

任特從大長 任特從大長 山縣 公 甘露寺受長

逸品愉大量為荷 無味豊了清水焼 有田焼路柿左两作 日田漆器の金食草

路樂豊京新 番一八二三(2)話電

別の情勢を見るに恰も大戦前 被を彷彿せしむるものあり、 を大闘の足振きを見るに合も大戦前 力なるを知り、今更年ら眞の 関力の光質の緊要なるを痛然 する大第である、晋等は此等 する大第である、晋等は此等 を搬ひて適切なる方策を請じ 臭く時局の眞相を正褪して共 の重大性を認識じ、以て我が 直先失業の道梁に應へ、其の 配先失業の道梁に應へ、其の 配先大量のあるを感する大策である。

に於けるやうな完全な制金権 ロード ではなられてあるが同時にこのために対する認識不足を来しは世ぬかといふるの掌握は世界史上未だ響でを表して、無道の重要性に對する認識を変更の変更となられてあるが同時にこのために対ってなられてある。制海権には制空権がいかに第三國への效果を認定しなける。海軍の最大なられてある駅かられてある駅かられてある。制海権には制空権がは大きの変異を設定しなられてある駅からでは大きの変異を設定しないからないかに第三國の無力といふものがいかに第三國の無力といふものがいかに第三國の無力といふものがいかに第三國の無力といふものがいかに第三國の無力といふものがいかに第三國の無力といふものがいかをわれらは思ふべきであるが、海軍の無量のを対しない。またを定めては大した手段はとらいるものでスチュアが経えず行はれた、しかし来だ、これは日本が正義に立るのでは大きであるが、海軍の無量の重してあるが、海軍の無量の重してあるが、海軍の無量の変別の策ないがある。 電報を 職合鑑験が維海悪を出動せる 時は既に戦はずして敵を屈す とつゝ我が

三、加八に関し條件を附するときは其の條件
総第二項の規定により組合
した。ときは其の條件
を第二項の規定により組合
なるときば和合は其の理由
なるときば和合は其の理由

はする。 はする。 はする。 はする。 はずる。 もずる。 もず。 もずる。 もず。 もず。 もずる。 もずる。 もずる。 もず。 もず。 もず。 もず。 もず。 もず。 も も も

ふ第一

一旬の休養に元氣

で愛馬時間は午前十一時半と 調威に多少の變更を生じ賽馬 回敷は第十二競馬となつたの で愛馬時間は午前十一時半と

で振馬の調教

有吉厩舎のベストテンは金箔 有吉厩舎のベストテンは金箔 横順流波、鞍山蕨、超鷗程の四 大く全期間を追つて奮闘したが、鞍に親しみを得ずチャンスを逃したる感である、此既 大く全期間を追つて奮闘したが、鞍に親しみを得ずチャンスを逃したる感である、此既 大くを逃したる感である、此既 大くを逃したる感である、此既 大くを逃したる感である、此既 大くを逃したる感である。此既 大くを逃したる感である。此既 大くを逃したる感である。此既

端

A STATE OF THE PARTY OF THE PAR

甲乙丙とあるは所謂春抽新馬にして甲乙丙とは本年の春季 は百二十圓以上の受賞金高によつ は百二十圓以上の受賞金高でよっ は百二十圓以上の受賞金高でよっ である、甲と は百二十圓以上百二十圓未満

東を見せることになるから有 がることになり、元氣ある騎 でもことになり、元氣ある騎 | することになり、元| | 切召集から贈つて二 二 二 穴 着 者 七六五四三二一

選川池岡有谷松〇 田本田野吉尾尾米

松梶田松池〇 本原井尾田米

新京神社南橋

電 3839

第一五四三二一

一大金豹 大工大 貫戶川 高 電

田池小遲斐 

↑ 次二 第四 五四三二 油 武早玉宏

▲第一抽古

不

勝

表

99

73)サンチエス

(比島)

祖田(ちゅん

614 アンボン

報清部調査―四月中全端主要 世都市生活必需品小賣物價指 を見れば躄火燃料鎖が微落を を見れば躄火燃料鎖が微落を がした、分類別に前月比較 を見れば躄火燃料鎖が微落を がした、分類別に前月比較 を見れば躄火燃料鎖が微落を がしてゐる外衣料、鞋類の八 分九厘を筆頭に穀類六分一厘

### 待望 新 5 0 球 華幕開 陣容 興味 3

波瀾豫想の新京野球リ

(下九合支局) 九合縣商工會 海 長孫明珍は去る11月二十一日 商工會議室に多数の市民有力 勝勝局勤務)に對する某事件 に付慮傷の悪宣傳を爲したる とて半島人側は一體に立腹し とて半島人側は一體に立腹し 告訴事 事件解決 經濟部發表 = 五月上旬貿易は ・ これを前年同期に比すれば でこれを前年同期に比すれば でこれを前年同期に比すれば でこれを前年同期に比すれば でこれを前年同期に比すれば をものムー方線入が四百萬圓 の増加を示してゐるため入超 ロ支 変引 を が 除 き 差 歸 別 入 出

農事試験場並にその分場及び 正場名

(單位%、△印下落)。 糖 煙衣調 其魚 疏穀 火料味 他類 指 燃及 幣 食及 英 料 鞋 好 料 內 數 類 類 品 品 類 類 類 如の一途

今国左記の如く當選作を決定に募集したニッサン自動車標に募集の十萬を突破、

連株式(短期) 1200 (短期) 1200 (2.2) 1200 (2.2) 1200 (2.2) 1200 (2.2) 1200 (2.2) 1200 (2.2) 1200 (2.2)

地株式市况 泥籍

・ 各 内 なン米ッ須も力 しに山サ賀職 (本部ン渡地徳

は H 0 儿 車 エはニッサ

月以降累計

は、かし日支を除きたる第三國質 ・ 場は僅か十三萬國ではあるが、 ・ 百九十七萬國に比し著しく改善。 ・ 善の跡が見受けられる、詳細 をの如し(單位千醴、△印人 超持續 EE

計畫に關し北七日午後の營林林業開拓民昭和十四年度入植 本年入植豫定敷

るば圓

旬月

湯都設圖勃吐營 丹譽 原藤化們利江名

日三陽保者三十東名の有力者
西工會に集合し、廃土に於て
孫明珍は各位の心慮を深沸し
佐々木豐佐は際の希望を述べ
故に二ヶ月余に良る紛緩が解

大会戦の解滅人間は俄然相反 日し對立せる爲九寨海長初め 有力者は憂慮し和解に大いに 努めたるも、双方畿として譲 らず紛争は益々悪化の傾向が

を以て、縣公署に於では佐 本木響佐をして調停の勞を採 別なる人格と熟心且つ公正な る指示の接觸は兩者を動かし のでは、氏の平常の高 のでは、氏の平常の高

伸ばせく 皇國の生命線



落合既合の勝利は前半のチャンスを逃がしてから勝温損めずとうとうとう七日目迄引張れてしまつた、これは調教不振といふ結果が影響したものと云くても鞍は上りそうなものである、これと反對に公山は六ちる、これと反對に公山は六ちる、これと反對に公山は六ちを順にしてみる、社處の公流で物にしてみる、社處の公流で物にしてみる、社處の公流で物にしてみる、社處の公流であるよく健園したのは登勝であるよく健園したのは登勝であるよく健園したが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きそれが、二次から少しは動きを

太平洋の 黒髪を 部の配なら 男なら

カ(新潟縣へ

かれる日本の底脈金安利代)コートルを實力見た

手形交換高(十六日)







を制をおむ

愈々本日開店致しま

お待たせ致しました

御挨拶

す

私の夢に迄描い

0



國 話③三三七八

社交揚に自負 御期待通りの皆様の しゐた希望 研究より實現へ 0 何卒 して居



50

第一は結膜炎などの様な眼のには大陸四つの場合があつてこれた陸四つの場合があつていまれ

マーのはときも何だか髪に感じなったときも何だか髪に感じなったときも何だか髪に感じをすす。 機じて廿歳位までは年年一回は綾膜してみるのもよろしいでせら、近親などは大んと廿五、六歳となると停止してするまなくなちますが、

連載漫画スープルボンロアヤー

長崎拔天

後一時四十分敵艦隊は

職に在り、

の名信號が

急くのでした 総を胸にかけて獣々と艦 のでした

お化粧石鹼の

手に持ってみてあまり ねばくするのは遊離した脂肪のある證據、6しアルカリが過感じます

の とくが入つたり型崩れのして 質に影響がありません 質に影響がありません するが、不純物は溶薬せずに 残ります、

変點は品 しかも に解溶 飛行 機

で本中総なしで、直接通話で で本中総なしで、直接通話で で本中総なしで、直接通話で もので、近ごろではその潜水とさきにの の無電機は日際戦役のころは です なりました、潜水 人の忠

夜 野三二〇〇



大特質(地階) 大特質(地階) 大学質(地階)

タイ陳列







勝つで兜の縁かしめよ

街に出ました

ハナマピ麥藁

純國産が増えて來た

たり細胞細胞

取つたのは五月二十七日午前ゆ」といふ無線電信を、わがゆ」といふ無線電信を、わが ひたい」とするめましたが 大将 は懸然として したい とすきめましたが 総かしめよ

全く撃滅しました、と たくてでして

ながくしいバナマや婆稈帽 絹バナマ帽やカンカン帽が目 は すがくしいバナマや婆稈帽 絹バナマ帽やカンカン帽が目 としはまだ材料にさして不足 〇……かように帽體には大し を見せてゐますが、さすがは 中流品以下はすつかりベリュ を見せてゐますが、さすがは 中流品以下はすつかりベリュ で けつかり影を潜め、純國産の 一つリボン、これもほとんど すつかり影を潜め、純國産の 一つリボン、これもほとんど

浮上つた皇漢薬

根木皮が大いに幅をきかす

△清毒用メタノーー

る蜜蠟

ル、普通消毒薬の石炭、ハ、普通消毒薬の石炭、

ド軍部に使用され代用品もないので、キニーネ成分の全部を無駄なく活用してつくつたもの)

◇ カ プ セル (魚から

石炭タの1

タキナ(マラリー安い)家天を

天を混入したもので値段も

△炭酸石炭

わが無敵艦隊

名質共に世界一です 海戦のころ ルの所まで近づいて 正改の方局藥

ドル以上離れたまとで んものですか、今では一般軍は水の観 従来は薬局方の規格程度が高かつたゝめ一般に効く薬として認められてゐながら薬局では腫腫用に使はなかつたものが澤山あるのです。そこで局はうといふのが量板木皮に至るまでの國産薬品を新に規格して使はうといふのが局方改正の趣情です。さて新しく使はれる。 ませう。 
本社方。 
は今といふのが局方改正の趣情です。さて新しく使はれる 
大十二種類の中から、家庭にはっとれてゐたオレーフ油の代用品、注射薬として使はれる 
本社方。 
は今はれる 
は今後はれる 
なおり、家庭にはれる 
は合はカンフルオレーフ油の代 一年一千萬圓にの でる輸入薬品を防 薬品を使ふため、 薬品を使ふため、 薬品を使ふため、 薬品をするれることになりました。

聞

まして居ました、大勝は何か は長鍘の柄をガッと握りしめ は長鍘の柄をガッと握りしめ は上鱈橋の左側に立つて落着 いて敷を睨んで南頻をふくら

トンあります、主砲の口今では長門、陸奥は三萬

三年の機頭高く掲げ

日露殿役のころの海軍は水の上で戦争するだけでしたが、今では空に飛行機、水中に潜水艦ができて、戦争する場所が上下にうんと増えました。
変は別日と共に當時最も大き
なは別日と共に當時最も大き

(日 磁 土)

州疲勞は

仰會地に多い

正しいでせうか

をますが、こんなときもよく をおいときは親力がよくなりますが、若しその眼鏡をかけますが、若しその眼鏡をかけますが、ときなります

如地艦長などから東郷長官・この時、加藤豪謀長始め

らになりましたつか

たものです

0 0

書

代用に権油をつかひます) へ山 椒 (健胃劑としてのクミテンキには、ショウジ クといふ輸入品が入つてゐた

ふの番組「新京放送局」

また近観や遠観が合はなくきますが、こんなときもよく

シンキは苦味をつける龍磨とショウヅタで出來たものだが、 電腔が少いのでその十分の一 の量で間に合ふセンブリを使 五、海軍を職力で、日本海を職力で、京都を職を職力で、京都を職力で、京都を職力で、京都を職力で、京都を職力で、京都を職力で、京都を職力で、京都を開かる。

一〇、二〇(奉天)家庭講座 一〇、二〇(奉天)家庭講座 小林壽一郎

10(東京 10(東京 東京 東京・ 無象通報の時間 東京大學的 東京大學的

(哈爾茂) 北端の

展型航渡土三 南行行洋海作 東伊市南瀬山柳島作選爆陸 で ウ外村志川 戸口水攻戦艦駆 で マン大 井 ーサンチ 幸一英俊二 

92 洗質る献

世於づら 臓で量は病 光もに六の あかされるが をがついてる でもできれるが

心臓

省部女 濟定檢

日朝阪大•京東

算法の

紅紅

本機で特長 故價水加 障格ラ 

ピトーコレ 代時アとし口コ







は不純原料から製造した石鹸に は不純原料から製造した石鹸に があるから御用心、概して無 色のものが安心 2 十分に輸化されたもの

9ません、鱧化せず残快 一包み紙のよごれてゐる

たりました、そして日本海軍 | 一張く 研究したので世界海軍が連日爆撃にゆくやうに でいろく 研究したので世界をいめ、一番の方にある軍闘士で | の飛行隊はこんどの支那事變

ーつリボン、これもほとんど ・ しょといふ代用草です、いま ・ しょといる代用草です、いま ・ しょといる代用草です。いま を探すほどしかない現状です。 とか變り編などの氣の利いた。 とか變り編などの氣の利いた。 はこのカンガン帽でぬりつぶって されぞうな勢ひ れ易く、陽にもやげ易い、 神を割つて編んだので表慮 神を割つて編んだので表慮 が交互に帽子の表面にでて が交互に帽子の表面にでて が交互に帽子の表面にでて が変更に相子の表面にでする。 がので、後つて値段も張つて たのが多く花やかなもの 全體にリポンはほつそ

- 硬化落花生

在、 なのので海・揮奏唱。 指件合指導車の番 への語 五〇代 大大、 編 指件合指導車の番 への語 五〇代 下文・軍・池東 鐵木記東

比O海軍大

2

9

3

HO

(暖とめ薬

九〇五〇五

東京) 經濟市況 東京) 經濟市況 東京) 經濟市況

護國の軍神東郷元

本の歌

知らないで

は手得ひなんが出来れえ

藤娘ふじもつ人形に描く名にて

制に汝を思ひ卯月を旅にゐる

者には何の苦悩の色も

分位ので野臭仕事をし

だと云ふので男の子に案内を お禮でも言つて行かうと男の 供のやうに とて見れて飯を食本とせめて はれ心から に見れて飯を食本とせめて はれ心から この老百

「家は新京ぢやないんですの上 本天です、妾一人が新京に来 たので心配する人なんがありいた ませんの」

を悼む

ついこの間元氣に来訪された。 しい通知を受け、まことに人 のいのちのはかり難いことを 思はざるを得似のである。さ き頃氏は『モダン鴻淵に「懐 た人も少くないことであらう た人も少くないことであらう た人も少くないことであらう にが上野さんに知られたの に変に本紙(長春實業新聞)

ゆとりもない。更にいつか政 する次第である。 今はそれを割くだけの気持の ではある。

あつた。思へば随分古いこと

が様になったんですの」 妾を當分費男の家 **仄紅くよひし來て** 傷心の杯をあげて限つてゐる つぶらなるひとみは戀に俺み記憶のみの花木犀に 明眸の少女を戀したやらに あ」目での日

西谷正夫 がにとけてゆくのか 死でとのけばひすれば 強てついた射鱗の肌に なっていた射鱗の肌に

果でもなく修み疲れたり 力なく懈怠して カなく保急して 華麗なる挽歌よ 街は冷え冷えと白銀の彩にし

されたのも知らないで金に換 に遂んで中間商人に或時は抜 一年中働き續けで素から秋 こが質の人生を知らな 

遠く霞む西の空を見つめてゐ 総であつた、風仙は立春の事 にを見び出しては はなる。 を記でのことを思び出しては はなる。 立春の云つた通り自然を

都會を憧れ勉强して出世するのだと華やかた夢を見てゐ た風値には王立春の言葉は耳 に入らなかつた。 人生の總でが夢の連續であ るにしても今の風値には悪夢 てゐるだらうか。

五味子

何事も考へないで何思にな

都の人形の妙へなる議を夜語り **非體に手方體かむし虎御前** 

和人

月の生活をするに懸命なこの百姓の家族達は

ちと懸命になつてある純朴な すると云ふ風仙を思ひ止めや で幼馴染の王立春が明日出發

19/4年 12 (『新潮』六月號)してある。銀子の漁村を見學にゆく。漁村の女だちの逞してある。銀子の漁村を見學にゆく。漁村の女だちの逞してある。銀子の漁村を見學にゆく。漁村の女だちの逞してある。銀子の漁村を見學にゆく。漁村の女だちの逞してある。銀子の漁村を見學にゆく。漁村の女だちの逞してある。銀子の漁村を見学にゆく。漁村の女だちの逞してある。銀子の漁村を見学にゆく。漁村の女だちの逞してある。がある。いはゆ本変學の一典型なのである。この作者として借本が変異の施弱さを霧骨に見せた一篇なのである。いはゆる箱庭的な交響の一典型なのである。この作者として借る箱庭的な交響の一典型なのである。この作者として借本がある。

脆弱な作品 「野み」

・ 「どんなに苦しくて s 働きま らな大人数は騒々しうで困る「淋しいだな、俺の家見たよく 秋むとごくり くと甘く美味 けた茶碗に注いで臭れる茶は だが親子二人ぢやなあ」 には姉妹があるかえ ふと原仙は故郷の丘を思ひ

には自な花を盛つた弾の木が との間に桃色に杏の花が吹き しれてある。

は

三年前の矢張り杏の花の風出した。 抱揮よ 青白き天鷺縅のふくよかなる 五、二七丁 御仁德千雕 野六の競部供婦合合 切月成立 切りの大盛辺 切れぬ中でと 花形力士の 作っ方がやさ





丸話越 伸 ③ . 五荷 運送

電光三四00·二回七九 薬品直輸



車轉自士富

店支天奉店商米日 社會式株

来表来八種を含む

勉強にいい

型を式作コリヴ (天本・阪大・京末)



含せしめたものであります

合せしめたものであります

合せしめたものであります

合せしめたものであります

合せしめたものであります

合せしめたものであります



品用代乳母的想理。合配全完素養榮

沙劳一团补州

社會式株菓製治明 • 造製 會克斯食糧人法國財 • 製工



与10万天兰苏瑟

御家庭と

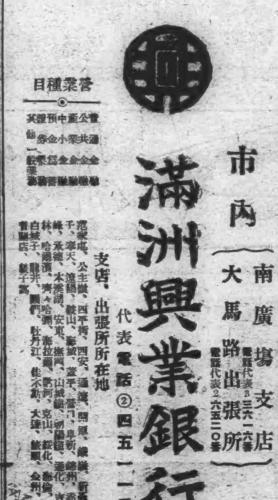






新京曙町二丁目三二

電話③二一〇四番



本店 新京大同大街 上台思和時はスク 489 本店 新京大同大同大街 上台思和時はスク 489

時州分電列車で潜任した【寫眞は驛前にで】、 一年後藤中央通警察署長に榮轉した市原捨義氏は十六日午後藤中央通警察署長に榮轉した市原捨義氏は十六日午後

地位と増俸

先生に朗報重る

きのふの最高廿七度

## 面倒がなくて **脈館の身賣り話** 特殊會社へ色目頻り **遂に觀光客閉**

に 見近身質りが街の話題とな として狙は礼轉業者相次ぐ運 家に工費甘萬團餘で建築した この には悪延ものに親町三ノニ 蔵すべき現象を示してゐる に工費甘萬團餘で建築した この時であるもので大和通 に工費甘萬國餘で建築した 同島はれてゐるもので大和通 に工費甘萬國餘で建築した 同島はれてゐるもので大和通 に 一〇五政記公司五金行主張 大物では懸裳路懸禁ビル等 本政氏が三十四萬國の巨額 がある には悪延もの、持てるも これが原因は所謂畝館經營と のには悪延もの、持てるも これが原因は所謂畝館經營と のにとつてはまことに有難 がある し暴騰の被に乗つて身賣りは かある にこの時であるとする至極 なったは毛宇護のもたらした最近 正にこの時であるとする至極 なったはに、 ない特殊的傾向として市内各族 尤もな者へによるものであり 各人

い、唯だ今後旅館經営をピい、唯だ今後旅館經営をピ

滿洲建設勤勞奉仕に

ーローの手で?

版館身資希望織出に對してッ

での色彩が機厚であり、一 での色彩が機厚であり、一 ででは困るがでと ででは困るがでと では困るがでと

記者團の

BALLERY THE EALLERY THERE EALLERY THERE BALLERY THERE

豕り 遁

長壯烈な戦死

男女見習募集 名虫元引受人を要す) 十五蔵迄の内地人 十五蔵迄の内地人

製造印

川売店

市民篮球戰組合

滿洲 興 業 銀 行

會葬御禮

大 石茶舗



會席、

五圓、

## ●香り良き新茶

八十名様迄お引受

割意

度敷制實施に就き御挨拶

北邊二省に

なる運管と新制度に依る利便を圖り以て所期の目的を達成致度右御挨拶旁々候間右御了承嫗度實施の曉は本制度に對し一層の御理解と御援助の下に圓貨扱て當局に於ては急々來る六月一日より電話度數料金制を實施致す事と相或謹啓 時下初夏の候益々御清穆の段奉慶賀候

本部設置 協和會準備進む 協和會準備進む

得貴意侯

協和會の外廓専門劇團こし

劇團甦生

和育中央本部では#1 具體条協議 のでは#1 今明日は夜間も開催

大田の を受ける。 を受ける。 を受ける。 をでは、 をでは、 をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をでをでをできる。 をでをでをでをでをできる。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでを

初 援新京日日新聞前





で呼び出すからね。そいつはこの船會社の社長の令様でねっまりこの、伸子には主人筋

つと僕とは犬猿の仲なんだようつかりすると、僕の醪を聴いたよけで、ぶつんと切つていたよけで、ぶつんと切つてんだ。

本格的に回復

八千

**附添ひの要事を知らせはじ** 

こんな症状の方に

におなじ事を繰りかへし、れがでデイタの顔

間に合ふだらうか。 別に、吐漉もせぬところを 別に、吐漉もせぬところを でれる、臓臓に逝するのでは

を死の手から数はねばなら

るるのが、睡眠薬中

スクールの出で佛語が御自慢 スクールの出で佛語が御自慢 スクールの出で佛語が御自慢 スクールの出で佛語が御自慢 るべく、俗語を使はずに、正 るべく、俗語を使はずに、正

**渗透療法** 

+

せら、この方、どうしちまつ一唇の端のはらに、泡のやう

でなんですの。

(人)

請吉が掌を置てた、伸子の 観は燃えるやうであつた。 四十度——。 ちれる最大限の熱かもしれな つて、 虫 喜太美郎

中島 喜美 書 から是非頼

ろへ、この出來事を出





ると、 危険です!輕く見

・胃酸過多症の新療法 手當を早く

くるしいとか、そして食後か空腹時にしるとか、酸い液が出るとか、胃が重 ちょつとした飲食物にも、すぐ胸がや 胃が痛めば胃酸過多症です。

が高騰して町中に酸を選挙に分かするからです。 が高騰して町中に酸を選挙に分かするからです。 が高騰して町中に酸を選挙に分かするからです。 (こ) れに難し、結長酸な酸酸を行ってゐると、その表記に難入るからとてもが酸です。

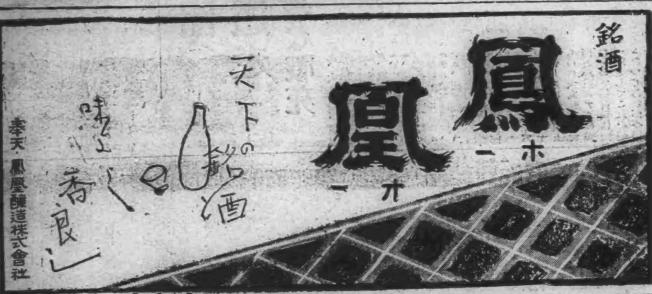
日

日

では、 を表するのですから、 を表するのですから、 を表するのですから、 を表するのですから、 を表するのですから、 を表するのですから、 を表するのが をまするのが をまするでものが をまるでものが をもでものが をもでもでもでもでもでもでもでもでもで をとか、 断側、 演動などをちゃうど網敷のやうに控験をした、 を整作形と云ひ――胃の協談に生じてゐる我們一下と云ひ――胃の協談に生じてゐる我們」といい。 際二に、戦者信用と云ひ 南門の総温度、有要素、高版程標物などを吸収して**だ**際二に、順著作用と云ひ──曹厳高多に最も書のある 樂腸胃の新最

0-1-05





**昌昌圖公司** 新支店 海陸運送●市內運搬 特に重量品運搬の御相談に 富士明五丁目一 業

市一に配行、以表をリーエョとの配布 レコード二枚アルバム解液等 ・ 一個大月上旬より ― 申込 切》日五十二月六 阻二期 (破二) フ買養金 (株二) 集 海の乙女―・質の ンケンフレテ本日 

タイプ印書 新清清 職等・立案

今辨慶整骨院 電 五川六二 まなつか

トラック に依る 大和運輸公司 東京六九〇<書 版 後

日本タイプライター株式會社

**企野瀬米店 野瀬米店 水** 野瀬米店

Bas結婚媒介部

愛心堂

内地子やけ電話大能配達 第210A五 白瀬田合門 新京東三周路 白瀬田合門 電る二七四七番 刻あんま 電話金融 無利で輸递に

トラックの毎月は野野工務所でいる。 カメラ修理 戦闘。川川九〇

サックをなさざる品を上朝出は専門の雪店に限る 統性の百貨店 男女數名 ●□九○八堂

女中女給事務員ボーィ其他 男女職業紹介 電 3六七〇九 中央通牒祭署前 宋松接骨院 はねつぎ 中央通り

製箱 工場古物問屋河 工場古物問屋河 新京中央通四二電3四九五九 外 外 第一生命新京支部

新京市野町一丁山 新京市野町一丁山 本茶道具は お茶と

看這板

相海社

七九 大連市西公園町一 恩 給 金 庫

市場 丸 八 商 店場が二人 八 商 店場が二人 八 職 3 六 0 画 1 事 所京人語町 讀 3 四五〇一冊 看 装 板 號四九路經大京新 書三六一二(2)話章

敷正 同

(佐山)

の第一業帯面野出一







白金·金銀 高價買入

商金·金級高價買入 橫濱屋質店 東二條滿二十五條 條條 3 國七七團第



鍼灸 東二條通交路前 吉光堂療院

明性化明,皮質的 特列聯安心散 吉光堂療院

印刷水帳薄 三友社 **教育** 京水銀町





階タイピスト養成 湘州 直實 所





